

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	四国財務局長
【提出日】	2020年10月14日
【四半期会計期間】	第22期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社ありがとうサービス
【英訳名】	ARIGATOU SERVICES COMPANY,LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 井本 雅之
【本店の所在の場所】	愛媛県今治市八町西三丁目6番30号
【電話番号】	0898-23-2243（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志岐 雄一
【最寄りの連絡場所】	愛媛県今治市八町西三丁目6番30号
【電話番号】	0898-23-2243（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志岐 雄一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第2四半期 連結累計期間	第22期 第2四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	4,198,254	4,075,206	8,311,438
経常利益 (千円)	215,179	127,338	277,416
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	142,579	63,684	70,497
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	141,430	68,463	67,120
純資産額 (千円)	1,931,991	1,848,243	1,857,621
総資産額 (千円)	4,410,168	5,080,207	4,384,776
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	155.08	69.28	76.68
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.8	36.2	42.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	318,510	122,299	520,554
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	74,902	175,362	168,193
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	155,358	669,054	397,360
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	729,773	1,213,627	596,885

回次	第21期 第2四半期 連結会計期間	第22期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	46.35	84.92

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、MOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.を連結の範囲に含めた結果、2020年8月31日現在、当社グループは当社及び子会社6社(うち連結子会社3社)により構成されることとなりました。MOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.はリユース事業セグメントに属しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことによりMOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.を連結の範囲に含めております。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、2019年末から新型コロナウイルスによる実体経済への世界的な影響が出ており、今後も先行き不透明な状況が続くと予想されています。

こうした状況のもとで、当社グループにおきましては手許現預金を厚くすること、フードサービス事業の再編成、リユース事業の生産性と在庫回転の向上に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、2月にMOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.にてHARD OFF Thepharak Store(タイ王国バンコク都)を出店、3月にホビーオフ大分敷戸店(大分県)を出店、4月にいきなりステーキゆめタウン久留米店(福岡県)を閉店、ユートピア宇和・游の里、クアテルメ宝泉坊、ホワイトファーム、ししの里せいよ(全て愛媛県)の4施設の運営を開始、ブックオフ・ハードオフ・ホビーオフ福岡庁橋店(福岡県)を出店したほか、7月にハードオフ・オフハウス霧島見次店(鹿児島県)をリニューアルオープンし、8月にタンドール松前店、卯之町食堂(ともに愛媛県)を閉店しました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業95店舗、フードサービス事業29店舗、その他7店舗、合計131店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,075,206千円(対前年同四半期比2.9%減)、営業利益53,155千円(同74.2%減)、経常利益127,338千円(同40.8%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は63,684千円(同55.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

当第2四半期連結累計期間におきましては、ハードオフ・ブックオフ事業の基本の再教育とハードオフ本部のECプラットフォーム「ネットモール」を活用したネット販売の拡大等を行ってまいりました。それに加え、タイ王国にて1号店となるHARD OFF Thepharak Storeをオープンするなど、海外子会社における新規出店に向けての取組みも継続して行ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、従業員の安全を図るため一部店舗における一時休業や営業時間の短縮等を行った結果、売上高2,919,049千円(対前年同四半期比1.9%減)、セグメント利益(営業利益)338,519千円(同3.1%減)となりました。

(フードサービス事業)

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの影響に対応すべく、ドライブスルー営業が可能な業態への注力やテイクアウトメニューの拡大の取組み、営業時間の短縮、定休日の設定を行ってまいりました。

その結果、売上高1,078,147千円(対前年同四半期比7.3%減)、セグメント損失(営業損失)16,255千円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)36,001千円)となりました。

(その他)

当第2四半期連結累計期間におきましては、4月から西予市4施設の営業を開始し、その初期投資費用を計上したこと、西予市4施設及び鈍川せせらぎ交流館にて新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地方自治体からの休業要請に従い4月下旬から5月末までの間営業休止を余儀なくされた結果、売上高78,010千円(対前年同四半期比33.5%増)、セグメント損失(営業損失)69,799千円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)220千円)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて626,479千円増加し、2,524,152千円となりました。現金及び預金が616,742千円増加、商品が36,142千円増加したことが主な要因ですが、これは4月から5月にかけて金融機関から借入れを行ったこと及びMOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.の連結に伴うものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて68,952千円増加し、2,556,055千円となりました。有形固定資産が118,077千円増加し、投資その他の資産が45,550千円減少したことが主な要因であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて695,431千円増加し、5,080,207千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて33,665千円減少し、970,656千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が42,283千円増加しましたが、その他流動負債が60,788千円減少したことが主な要因であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて738,474千円増加し、2,261,307千円となりました。金融機関から資金の借入れを行った結果、長期借入金が746,586千円増加したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて704,808千円増加し、3,231,964千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて9,377千円減少し、1,848,243千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ616,742千円増加し、1,213,627千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、非資金項目である減価償却費の計上、法人税等の支払等により、122,299千円の収入(前第2四半期連結累計期間は318,510千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、長期前払費用の取得による支出、差入保証金の回収による収入、投資不動産の取得による支出等により、175,362千円の支出(前第2四半期連結累計期間は74,902千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出、配当金の支払額等により、669,054千円の収入(前第2四半期連結累計期間は155,358千円の支出)となりました。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,342,400
計	3,342,400

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	953,600	953,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	953,600	953,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年8月31日	-	953,600	-	547,507	-	63,507

(5)【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社イモトカンパニー	愛媛県今治市新谷甲1464 - 10	320,000	34.81
井本 雅之	愛媛県今治市	99,600	10.83
株式会社ハードオフコーポレーション	新潟県新潟市東区新栄町3丁目1番13号	36,000	3.92
ブックオフグループホールディングス株式会社	神奈川県相模原市南区古淵2丁目14 - 20	36,000	3.92
ありがとうサービス従業員持株会	愛媛県今治市八町西3丁目6番30号	29,078	3.16
若杉 精三郎	大分県別府市	12,600	1.37
GMOクリック証券株式会社	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号	12,600	1.37
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	10,700	1.16
株式会社高知銀行	高知県高知市堺町2 - 24	9,200	1.00
J.P. MORGAN SECIRITIES PLC (常任代理人 JPモルガン証券株式会社)	25 BANK STREET CANARY WHARF LONDON UK (東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング)	8,600	0.94
計	-	574,378	62.48

(注) 上記のほか当社保有の自己株式34,310株(3.60%)があります。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 34,300	-	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 917,700	9,177	同上
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	953,600	-	-
総株主の議決権	-	9,177	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式10株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) 株式会社ありがとうサービ ス	愛媛県今治市八町西3丁目 6番30号	34,300	-	34,300	3.60
計	-	34,300	-	34,300	3.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	596,885	1,213,627
売掛金	113,342	112,182
商品	1,000,737	1,036,880
その他	188,190	162,379
貸倒引当金	1,482	916
流動資産合計	1,897,673	2,524,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	851,738	871,099
その他(純額)	323,430	422,146
有形固定資産合計	1,175,169	1,293,246
無形固定資産		
投資その他の資産	19,884	16,310
差入保証金	562,644	536,816
その他	735,195	715,831
貸倒引当金	5,791	6,150
投資その他の資産合計	1,292,049	1,246,498
固定資産合計	2,487,102	2,556,055
資産合計	4,384,776	5,080,207
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,734	101,664
1年内返済予定の長期借入金	377,476	419,759
未払法人税等	64,252	64,162
その他	445,859	385,071
流動負債合計	1,004,322	970,656
固定負債		
長期借入金	841,410	1,587,996
退職給付に係る負債	10,646	11,631
役員退職慰労引当金	93,833	90,479
資産除去債務	444,035	431,577
その他の引当金	-	16,690
その他	132,908	122,933
固定負債合計	1,522,832	2,261,307
負債合計	2,527,155	3,231,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,314,208	1,294,047
自己株式	79,471	79,471
株主資本合計	1,845,752	1,825,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,212	15,019
為替換算調整勘定	3,343	2,900
その他の包括利益累計額合計	11,868	12,119
非支配株主持分	-	10,533
純資産合計	1,857,621	1,848,243
負債純資産合計	4,384,776	5,080,207

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	4,198,254	4,075,206
売上原価	1,448,240	1,450,302
売上総利益	2,750,013	2,624,904
販売費及び一般管理費	1 2,543,891	1 2,571,748
営業利益	206,122	53,155
営業外収益		
不動産賃貸料	35,653	30,895
受取負担金	-	66,748
その他	10,642	17,881
営業外収益合計	46,295	115,525
営業外費用		
不動産賃貸原価	31,650	28,422
その他	5,588	12,920
営業外費用合計	37,238	41,342
経常利益	215,179	127,338
特別損失		
固定資産除却損	611	3,694
固定資産売却損	36	-
店舗閉鎖損失	-	4,207
特別損失合計	648	7,901
税金等調整前四半期純利益	214,531	119,436
法人税、住民税及び事業税	63,851	43,252
法人税等調整額	8,100	7,885
法人税等合計	71,952	51,137
四半期純利益	142,579	68,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	4,614
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,579	63,684

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	142,579	68,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	327	192
為替換算調整勘定	1,475	356
その他の包括利益合計	1,148	164
四半期包括利益	141,430	68,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,430	67,823
非支配株主に係る四半期包括利益	-	640

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	214,531	119,436
減価償却費	107,971	94,089
長期前払費用償却額	6,120	5,971
店舗閉鎖損失	-	4,207
貸倒引当金の増減額(は減少)	10	207
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	508	985
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,812	3,354
その他の引当金の増減額(は減少)	-	2,000
受取利息及び受取配当金	1,113	957
支払利息	4,307	6,594
受取負担金	-	66,748
災害による保険収入	29,745	-
有形固定資産売却損益(は益)	37	-
有形固定資産除却損	611	3,694
売上債権の増減額(は増加)	943	1,171
たな卸資産の増減額(は増加)	17,233	35,152
仕入債務の増減額(は減少)	29,504	17,149
その他	29,660	39,697
小計	409,528	74,883
利息及び配当金の受取額	1,112	957
受取負担金の受取額	-	100,000
利息の支払額	3,955	6,923
店舗閉鎖損失の支払額	-	3,910
法人税等の支払額	88,175	42,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,510	122,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,200	-
定期預金の払戻による収入	10,802	-
有形固定資産の取得による支出	50,923	146,629
有形固定資産の売却による収入	40	-
資産除去債務の履行による支出	7,085	16,530
無形固定資産の取得による支出	150	226
投資有価証券の取得による支出	503	518
関係会社株式の取得による支出	20,000	-
長期前払費用の取得による支出	621	18,699
差入保証金の差入による支出	4,576	8,241
差入保証金の回収による収入	10,109	33,282
投資不動産の取得による支出	14,191	4,960
預り保証金の返還による支出	-	2,391
貸付けによる支出	-	13,459
貸付金の回収による収入	3,398	3,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,902	175,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	1,050,000
長期借入金の返済による支出	185,542	261,131
リース債務の返済による支出	36,882	37,119
自己株式の取得による支出	142	-
配当金の支払額	82,791	82,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	155,358	669,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	623	750
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	87,625	616,742
現金及び現金同等物の期首残高	642,148	596,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,729,773	1,213,627

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

前連結会計年度において非連結子会社でありましたMOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、同社はリユース事業セグメントに属しております。

(会計方針の変更)

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 2018年9月14日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の四半期報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、以下の関係会社の金融機関からの出資金に対し保証を行っております。これら保証契約に係る出資金の円換算額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
MOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD.	7,405千円	7,119千円
計	7,405千円	7,119千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
給与手当	313,954千円	355,130千円
雑給	741,430千円	701,442千円
退職給付費用	1,176千円	1,279千円
役員退職慰労引当金繰入額	5,812千円	5,562千円
家賃地代	492,957千円	481,833千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金	729,773千円	1,213,627千円
預入期間3ヶ月超の定期預金	-千円	-千円
現金及び現金同等物	729,773千円	1,213,627千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月30日 定時株主総会	普通株式	82,744	90	2019年2月28日	2019年5月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	82,736	90	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リユース事業	フード サービス事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,976,185	1,163,644	58,424	4,198,254	-	4,198,254
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,976,185	1,163,644	58,424	4,198,254	-	4,198,254
セグメント利益	349,349	36,001	220	385,571	179,449	206,122

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リユース事業	フード サービス事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,919,049	1,078,147	78,010	4,075,206	-	4,075,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,919,049	1,078,147	78,010	4,075,206	-	4,075,206
セグメント利益又は損失 ()	338,519	16,255	69,799	252,464	199,309	53,155

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益	155円08銭	69円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	142,579	63,684
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	142,579	63,684
普通株式の期中平均株式数(株)	919,368	919,290

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月13日

株式会社ありがとうサービス
取締役会 御中

E Y新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 英之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中尾 志都 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ありがとうサービスの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ありがとうサービス及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。